

「保健医療科学」 第59巻 第2号 予告

特集：平常時・災害時の衛生対策（仮題）

- 新型インフルエンザ対策から学ぶ包括的な感染症対策（仮題）……………北里大学 和田耕治
人工透析における水の問題と非常時の病院の給水確保について（仮題）
……………東京都水道局 金見拓，国立保健医療科学院 秋葉道宏
公衆浴場におけるレジオネラ対策と消毒（仮題）
……………国立感染症研究所 泉山信司，国立保健医療科学院 小坂浩司
震災時の避難所等のトイレ・衛生対策（仮題）……………日本トイレ研究所 加藤篤
地域社会におけるヘルスケアシステムの自然災害後復興支援モデルの検討（仮題）
……………国立保健医療科学院 橘とも子，曾根智史
たばこ，アルデヒド，室内化学物質汚染の現状と課題など（仮題）
……………国立保健医療科学院 内山茂久，稲葉洋平
シックハウス対策の近況とこれからの課題（仮題）……………国立保健医療科学院 大澤元毅

編集後記

私たちの社会には、国や地域全体で克服していかなければならない様々な問題が絶えず存在している。それらの多くについては、その解決の成否が将来の社会状況に大きな影響を与える可能性がある。たとえば、より良い教育制度の構築、自然環境の保護といった問題はその典型的な例である。このような社会共通の課題に対して解決策を探るための1つのフレームワークが「社会的共通資本」という概念である。この概念の根幹には、「社会全体にとって重要なものを社会の共通財産として大事にしていこう」というきわめて自然な考え方がある。

本特集では、このような社会的共通資本の1つであるヘルスケアシステムについて、様々な側面から現在の課題や将来の方向性などが議論されている。ヘルスケアシステムは人々の生活や幸福に直結するシステムであり、そのあり方を考えることは、市場における利潤追求のみを議論することとは本来的に異なるはずである。すなわち、ヘルスケアシステムは、まさに社会的共通資本という観点から議論するのにふさわしいテーマであろう。

このような社会的共通資本を将来にわたって維持・管理し、有効に活用していくためには、専門的知識・技術および高い倫理観を持った人材が必要となる。保健医療分野における人材育成という観点からも、本特集記事の内容は科学院の教育訓練に関して多くの示唆を与えているように思われる。

(緒方裕光)

「保健医療科学」投稿規程

1. 投稿論文

公衆衛生および社会福祉の向上，普及に資する研究，および活動報告とし，「保健医療科学」編集委員会が掲載内容を決定する。ただし，他誌に発表（予定も含む）された論文は掲載しないものとし，多重投稿を禁ずる。また，原稿は随時受け付ける。

2. 原稿の種類，内容及び制限頁数

査読つきのもの

総説 (Reviews)

関連領域の調査，研究，活動，政策動向，進歩，課題，展望などについて参考文献を付して総括的に解説するもの [12頁以内]

原著 (Original Articles)

独創的な研究にもとづく新知見を含む論文 [10頁以内]

ノート (Notes)

速報など，原著に比べて簡潔で若干の新知見を含むもの [5頁以内]

資料 (Research Data)

調査または統計などをまとめたもの [8頁以内]

報告 (Reports)

国内外の公衆衛生および社会福祉に関する実践，教育，研究などの報告 [5頁以内]

論壇 (Commentaries)

公衆衛生および社会福祉の活動，政策，動向などについての提案，提言 [5頁以内]

査読のつかないもの

レター (Letters)

掲載論文に対する意見や国内外の公衆衛生および社会福祉に関する実践の報告で時宜を得たものなど [2頁以内]

書評 (Book Reviews)

公衆衛生および社会福祉に関する図書などの紹介 [1頁以内]

*刷り上り1頁は2,600字，英語の場合は850wordsを基本とし，2段組のレイアウトとする。

なお，編集委員会の判断で，制限頁数を超えた原稿の掲載を認めることがある。

3. 特集について

編集委員会は，各号ごとにテーマを設け，特集を組む。特集の原稿は，専門家への依頼，または，一定の告知期間を設けた投稿募集によるものとする。

4. 発行頻度

年4回発行し，必要に応じて補冊 (Supplement) を発行する。

5. 投稿方法

原稿は電子メールに添付して送信するか，原稿を保存した電子メディアを郵送する。

- ・ 投稿申込書 (<http://www.niph.go.jp/toshokan/hokeniryokagakutokomoshikomi041018.htm>)
- ・ 本文 (原則としてWord形式で作成すること)
- ・ 図表 (必要に応じて)
- ・ 英文抄録

なお，執筆要領については別に定める。

(<http://www.niph.go.jp/toshokan/shippitsuyoryo041021.pdf>)

6. 原稿の審査

投稿論文の採否は，複数の専門家による査読の結果に基づき，編集委員会にて決定する。(図「投稿論文査読の流れ」参照)

「特集」については、特集担当委員、または、その指名する査読者が査読を行う。

7. 論文掲載料・別刷り

論文掲載は無料であるが、掲載論文の投稿者のうち希望者は有料で別刷りを作成することができる（50部単位）。

8. 校正

著者校正は初校までとし、脱落、誤植などの校正とする。原文および図表等の大幅な訂正などは認めない。

9. 著作権およびホームページへの掲載

本誌の著作権は本院に属する。なお、他誌などにその全部または一部を使用する場合は本編集委員会の同意を必要とする。本誌に掲載された論文は、全文を電子化し、国立保健医療科学院のホームページに掲載する。

10. 投稿先

「保健医療科学」編集委員会事務局

e-mail: jniph@niph.go.jp

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

TEL. 048-458-6213 FAX. 048-469-0326

(平成21年6月18日改訂)